

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	スーパー（店 長）	販売量の動き	・5月は販売促進活動などの効果が表れ、やや上向き になっている。
		コンビニ（店 長）	販売量の動き	・プラス1品買上になっており、少しずつではあるが 良くなっている。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・依然として節約志向がある。世界的な不確定要素が 前面に出てきて、逆戻りの感がある。
		通信会社（営業 担当）	来客数の動き	・昨年よりやや遅いが、夏商戦期らしくなってきた。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・6月は周年記念競走を開催したことから前月比 5%、3か月前比12%、前年比15%増となった。周年 記念競走そのものは前年比118%と大幅増となったも の、本場での売上は横ばいであった。
	変わらない	商店街（事務局 長）	販売量の動き	・英国のEU離脱問題は世界経済に大きな影響を与え たが、経済悪化が長期化しないよう各国の知恵や工夫 も感じられる。米国の大手金融機関の破たんのような ことにはならない見通しが救いであるが、アベノミク スも踊り場で、景気が良くなる要素が見当たらない。
		一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	お客様の様子	・地元ではにぎわう材料が無く、どこも閑散としてい る。
		スーパー（企画 担当）	来客数の動き	・原材料値上げ等による売価の値上げラッシュが1年 経ち落ち着いてきた気配はあるが、来店客数は前年を 割る厳しい状態が続いている。
		コンビニ（総 務）	来客数の動き	・気温や天候に大きく左右されるが、来客数は横ばい となっている。
		コンビニ（商品 担当）	来客数の動き	・様々な企画を打っているが、来客数の改善が見られ ない。
		衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・例年通り、6月の最終前の土日からバーゲンを始 め、昨年に比べて、その分がやや良かった。数字自体 は大きい、「良い」とまでは言えない。
		衣料品専門店 （総務担当）	来客数の動き	・来客数の減少が顕著に出ており、それが売上減に直 結している。セール開始時期が変わったこともある が、前年比5%程度マイナスとなった。
		家電量販店（店 員）	単価の動き	・低価格品にしか興味を示さず、機能・性能面を犠牲 にしてもとりあえず欲しいという方が多い。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・先月、小型の新型車が発表となり、販売量の増加が 期待されたが、総台数は前年並みとなり、例月と変わ りない。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・特に軽自動車は期待している市場環境にない。大手 自動車メーカーの燃費不正問題も影響しており、低迷 している。
		その他小売 〔ショッピング センター〕（副 支配人）	お客様の様子	・来客数は衣料品を中心にやや低調であるが、客単価 が若干上昇している。
		観光型旅館（経 営者）	来客数の動き	・道後温泉はこの1～2年良くはなっているが、先 月、今月、来月あたりの状況はあまり変わっていない。
		都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・単価もあまり動かない状況で、景気が良いか悪いが 判断がつかない。
		旅行代理店（営 業部長）	来客数の動き	・夏の家族旅行の申込が少し増えてきた。例年より少 し動きが鈍いのは、オリンピックの影響があるのかも しれない。海外旅行は低迷を続けている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・客単価に変わりはしない。今年に限ったことではな いが、家族に土産を買っていく客が以前より減少してい る。また、ピヤガーデン等の帰りには電車を利用する 人が多くなっている。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・今は遍路客を対象にしており、街で仕事をするこ とがほとんど無い。そのお遍路も、今年は60年に一度の 申年の逆打ちということで注目されているものの、私 自身の仕事量は例年と変わらない。	
	通信会社（社 員）	販売量の動き	・前年と比べて業界全体の販売量は低調に推移して おり、ここ数か月の傾向は変わらない。	
	通信会社（企 画）	お客様の様子	・お客さまの引き合い件数に大きな変化はない。	

	通信会社（支店長）	お客様の様子	・想定を超える動きも無く、動向は変わらない。	
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・天候に左右されるため、雨が多くて伸び悩んでいる。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・梅雨の影響で多少来客数は多いが、売上は変わらない。	
	設計事務所（所長）	単価の動き	・建築の単価は上昇しているものと下落しているものがあり、どちらとも言えない。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・若者たちも通行するようになって、週末を中心に来街者数はそこそこ良いと思う。6月初め頃からバーゲン待ちの様子がうかがえ、既にバーゲンを始めている店もあるが、財布のひもが固く、厳しい状況が続いている。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・若年層の生活が携帯電話中心になっており、携帯電話以外での消費行動に活発さが見られない。それが来客数の減少に繋がっている。	
	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・予算よりなるべく低い価格で、見栄えする商品を希望する人が多くなった。大雨など天候不順もあって、来客数は少なかった。	
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・販売量が大変少なくなってきた。	
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・衣料品の継続不振に加え、比較的堅調であった食品もやや減速している。高額品の動きも鈍く、売上が悪化している。	
	スーパー（財務担当）	単価の動き	・節約志向を強めており、低価格品志向が強くなっている。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・街中のお客様の来客がかなり少なく、特に日曜日は減っている。来客数、販売量、客単価などを見る限り、景気は良くない。消費税増税の再延期は大正解だと思う。消費税増税が予定どおり実施されたら地方の中小企業の70%はやっていけないのではないかと。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・大手自動車メーカーの燃費不正問題や税制の変更等で軽自動車のメリットが少なくなり、軽自動車の販売が減少に転じている。	
悪くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・英国のEU離脱問題も含めグローバルizmとナショナリズムとの対立で世界は揺れ動いている。20年構想で作り上げてきた街の開発プランが休止となったため、今後は更に対立が起き、いろいろな場面で時間ロスが発生し低迷期に入る。	
	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上、外商売上ともに前年を大きく割り込んでいる。	
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・梅雨に入り、前年と比べて売上が悪化しており、特に客単価は著しく悪くなっている。	
	通信会社（営業部長）	販売量の動き	・販売数が逡減傾向で、6月は前月より1割減少している。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・来客数減少、来客頻度も低下しているなど悪い状態が続いている。	
企業動向関連 (四国)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規のウェットの業務用商品やフェイスマスクの受注が好調で、売上は伸びている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・営業努力の結果、大きな物件、太陽光建設等は順調で、売上も増えていく。
	変わらない	農林水産業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・市場出回り量が多くはないが、末端の売行きが芳しくない。悪天候で客足が鈍いことも一因か。
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・熊本地震の影響も薄れ、6月は持ち直している。ただ、英国のEU離脱問題から急速な円高に振れて国内景気が下降すれば、今後消費にも影響が出てくる心配がある。
		木材木製品製造業	取引先の様子	・5月の戸建て住宅の受注は比較的堅調な数字が出ているものの、株式市場や為替の変動などで購買意欲が減退するリスクも残る。
		電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・出荷量が3か月前より数%微増しているが、これは流通在庫の変動によるものと見られる。エンドユーザーの消費や市場のデマンドに変動はうかがえない。
		建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・売上は増加したが、受注高と受注残はやや減少している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が伸びず、頭が痛い。

	建設業（経営者）	競争相手の様子	・端境期であるため手持ち業務量は減少傾向にあるが、これは織り込み済みである。昨年度来、同業者の多くは売上増・利益増により福利厚生を充実し、研修旅行の復活や賞与の増額を実施しており、景況感は悪くない状態が続いている。	
	輸送業（営業）	競争相手の様子	・同業者の中には、保有車輛の減車に留まらず、廃業を決めた事業所もある。元請け業者は、既存の外注先が減車や廃業をした場合、代わりの業者を速やかに選定しなければならないが、難航している。荷主との契約を維持する為に、自社の増車による機動力強化を余儀なくされている。10月から適用される排出ガス規制強化の影響もあって、新車より調達時間が短く安価な中古車の市場価格が高騰し、車輛の調達に苦慮している。	
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先の資金需要は鈍く、設備投資に慎重な印象を受ける。しかし、取引先企業の試算表や資金繰表からは特に業況の悪化を示すような傾向は見られない。	
やや悪くなっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少し、案件も少ない。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・国内需要は前年割れが続く、クレーンの稼働率も低下している。海外受注残も前年割れが続いている。	
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・報道が景気不安定をあおっていると思う。	
	不動産業（経営者）	取引先の様子	・広告を打っても反応が非常に鈍い、という話を同業他社から聞いている。先行きに不安を抱いているために、不動産には非常に慎重になっている。	
	公認会計士	取引先の様子	・顧客会社の6月の決算、試算表等を分析すると、売上・利益ともに前年より減少している企業が増えている。景気はやや悪くなっているのではないかと心配している。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連 (四国)	良く なっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	雇用形態の様子	・有効求人倍率が過去最高となり、完全に人手不足となっている。人材を確保するための条件競争が起きており、非正規でも時給千円以上が当たり前になりつつある。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・長期勤務を希望する派遣スタッフの登録が減少傾向にあり、オーダーに応えられないケースが増えてきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・県内の広告需要は低く、横ばいとなっている。
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・人手不足感がよく聞かれるが、求人条件の向上には至っていない。
		民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・英国のEU離脱問題を受けて県内の輸出企業、とくに製造業に動揺が見られる。これから先のことを不安に思う経営者が多い。
	やや悪くなっている	学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・求人数が順調なことから景気が良くなっているように見えるが、企業の就職担当者からは景気が上向いているという話は聞かれない。
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・求人も以前よりは少なくなってきたおり、製造業では徐々に落ち込んできている。
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・県内企業においては、短期的に見ても中期的に見ても人材不足の企業が多い。ただ、今年は新卒採用に成功した企業が前年より増え、採用できなかった企業との格差が広がっている感がある。
	悪くなっている	職業安定所	それ以外	・5月の有効求人倍率は1.28倍で、3か月前の2月と比べて0.10ポイント低下した。
-		-	-	